# 変貌する高等教育

大学という仕組みはこのままでよいか

大東文化大学経営学部 水谷 正大

http://www.ams.org/notices/201210/rtx121001447p.pdf

Steven F Barkan

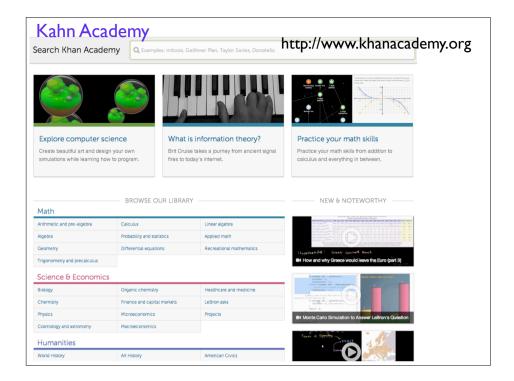
### Open Text Revolution

Many paperback texts in core courses cost well over \$100. College algebra and elementary and intermediate algebra textbooks at major publishers cost between \$166 and \$175 at the time of this writing. Across the United States, college students pay between \$600 and \$1,200 annually for their course textbooks, depending on which study one reads.

Many students, as many as two-thirds in some surveys, report they have been unable to buy at least one textbook because it is too expensive. Textbook prices are especially burdensome for low-income students at community colleges and public universities. When students cannot afford to buy textbooks, their grades suffer, and they are more likely to drop out of school.

Against this backdrop, the rise of open text- books (also called open-source textbooks) is an exciting development that is a win-win situation for students and instructors alike. An open textbook is a textbook that, first and foremost, is published online and available there for students to use for free (yes, free!). Anyone with Internet access anywhere in the world can read an open textbook.

電子書籍による出版と配布環境は既に整いつつある



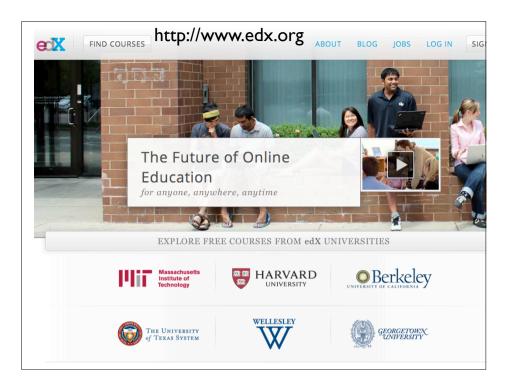
## MOOCの登場

Massive Open Online Course

MOOCは無料で高品質の大学授業を提供している

「無料」は利用者が支払わないということであって その運用には大きな費用が必要

投資家の資金提供と大学独自の財源で運用。 公的資金は入っていない。







### MOOCの工夫

#### デジタルメディアの利用

試験の実施

レポートの剽窃チェック

学生の勉強会形成

SNSによる疑似対面質疑

#### 無料制と有名大学を背景で集客し、教室中心

#### 授業を解体

MOOCでは学生は対価を支払って品質を求める消費者ではない

MOOCでは学習成果を保証し、工場方式で包括的価値のような無焦点さはない

MOOCでは学生が集うキャンパスの存在は不要

#### 日本の高等教育の問題は?

#### 学術情報委員会

http://www.mext.go.jp/b menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/index.htm

こんなに沢山の大学がある。。。

全てすばらしい学びの場であるのか

そもそも、なぜ学ぶのか

学校という場所は本当に必要なのか

	区	分	学校数	学	生	数	教	員 数	職員	数
				計	男	女	本務者	兼務者	本務者	兼務者
		H20年度	765	2,836,127	1,695,372	1,140,755	169,914	174,419	195,375	5,25
		H21年度	773	2,845,908	1,687,518	1,158,390	172,039	180,475	200,159	5,403
		H22年度	778	2,887,414	1,701,834	1,185,580	174,403	185,231	203,389	5,187
		H23年度	780	2,893,489	1,693,307	1,200,182	176,684	188,220	210,139	5,136
大学		H24年度	783	2,876,134	1,670,000	1,206,134	177,570	191,308	214,269	5,166
		国立	86	618,134	407,493	210,641	62,825	38,697	69,371	20
		公立	92	145,578	70,350	75,228	12,876	14,468	13,663	397
		私立	605	2,112,422	1,192,157	920,265	101,869	138,143	131,235	4,749
		20	417	172,726	19,208	153,518	10,521	23,680	5,700	3,447
		21	406	160,976	17,478	143,498	10,128	22,912	5,396	3,543
		22	395	155,273	17,482	137,791	9,657	21,714	5,168	3,396
		23	387	150,007	17,372	132,635	9,274	21,139	5,038	3,579
短期大	学									
		24	372	141,970	16,501	125,469	8,916	20,190	4,853	3,533
		公立	22	7,917	1,054	6,863	581	1,095	235	135
		私立	350	134,053	15.447	118.606	8.335	19.095	4,618	3.398

### 大学不用論の跋扈

渦巻く大学バッシング

社会に必要な人材を育てていないという批判

就職活動の前倒しと早期内定化の加速

「大学卒業を重視しない」

「人物本位とその能力で採用」

「大学名を重視しない」 「学歴なんて不用だ」

### 不満の実態

#### 学生や父兄から

- 授業、成績評価
- 優良な就職先が保証されていない

#### 企業から

- 知識が足りない、モノを知らない
- 技能が身についていない

### 大学に対する前提認識(2)

#### 学位生産工場モデル

学生は商品

中等教育を終えた者に、獲得していなかった知識や技術を提供するという加工を施し、その付加価値を学位 ラベルとして与える

学生の価値の源水は、大学修了時に身につけている知識と技能であり、 大学の機能は学生の**雇用可能性**を拡大することである

単位制度による課程修了は時間数によって規定された工場の品質保証 規定単位の取得によって知識と技能をみにつけているだろうとみなして 大学が卒業認定している

土屋俊「デジタル・メディアがもたらす大学の変容または消滅」in グローバリゼーション、社会変動と大学

### 大学に対する前提認識(1)

#### 学生消費者主義

学生は消費者である

大学教育を商品として見て、大学教育を将来の私的な 利益のための消費(お金で買うもの)と見なす考え

知識は人類共有財産であり、誰もがその成果を利用できるような制度や 形態が望ましいとする高等教育を公共財としてみなす伝統の崩壊

(アメリカなど) 大学が留学生を受け入れているのは輸出産業

原則として高等教育が無料(きわめて安価)であったヨーロッパでも、 学費を値上げしはじめている(イギリスやフランス)。

土屋俊「デジタル・メディアがもたらす大学の変容または消滅」in グローバリゼーション、社会変動と大学

### 大学の何が問題か

大学修了者に対して、どんな知識や技術が身についたかを、社会も(自らも)問題にし始めている

大学課程修了の社会的信用度は失なわれ、卒業生の一生を保証せず 大学発行の包括的な卒業証書では社会はもはや満足していない

#### 卒業資格から学習成果へのシフト

社会の需要は特定時期の限定的仕事に関する品質保証へと解体されつつある。

学生は雇用可能性を向上させるために大学教育を購入し、大学 は素材に対する付加価値を包括的につけて雇用市場に送り出す という大学の仕組み全体が、その機能を失ってきた

土屋 俊「デジタル・メディアがもたらす大学の変容または消滅」in グローバリゼーション、社会変動と大学

# 何故大学の地位がこんなに 低くなってきたのか?

教育行政の失敗?

学力低下? 不必要な大学数?

社会構造の変化? 高度情報化社会?



知の変化?

### MOOCの無料サービスの維持

対価徴収によらない情報提供は、Googleの成功 を引くまでもなく既に成功している

商業スポンサー方式

オープンソース方式

オープンソースアクセスジャーナル方式

土屋俊「デジタル・メディアがもたらす大学の変容または消滅」in グローバリゼーション,社会変動と大学

### 大学の存在は不要化しつつある

企業が評価するのは学習成果であり、卒業証明 ではなくなってきた。

> 学士資格を必須とする雇用は実際に存在する。そのとき、 雇用者に何を求めているのかを真剣に検討すべきである。

学士資格が無効なら、必要な特定知識・技能を身につけること、学びたいことがあればそれを学べばよい。

学士号資格を授与することで卒業生の質について包括的保証を与えている機能を担っている大学はその存在意義を失っているという帰結をもたらす。

土屋俊「デジタル・メディアがもたらす大学の変容または消滅」in グローバリゼーション,社会変動と大学

### MOOCのもたらす衝撃

授業を行う者とコース提供者edXやCourseraとは一体でない

無料サービスにおいて、情報提供(制作者・著者・プログラマ)と 配布業者(サーチエンジン、放送局、電子出版事業者)は分離



高等教育の方式が異なる可能性

#### 学習する機会と方法は自由に選べる

時間と距離を超えるインターネットの利用が多様な学習を提供している

働きながら、学業を中断した人々への恩恵 であり、柔軟な学習形態こそ教育の本質



無料で教育が提供されている

土屋俊「デジタル・メディアがもたらす大学の変容または消滅」in グローバリゼーション、社会変動と大学

MOOCは何を問うているの だろうか?